

13) 上村 清：熱帯病との戦い：北日本新聞，12/20，10，1979.

#### ◆ 学会報告

1) 上村 清，渡辺 護：プロチオホス・DDVP 混合油剤のアカイエカ幼虫・蛹に対する実地試験，第31回日本衛生動物学会大会，1979. 4，筑波.

2) 渡辺 護，荒井優実，上村 清：立山におけるクロバエ類の卵巣発育について，第31回日本衛生動物学会大会，1979. 4，筑波.

3) 吉村裕之，近藤力王至，大西義博，赤尾信明，上村 清：北陸地方の寄生蠕虫の疫学調査—宮崎肺吸虫・横川吸虫・広節裂頭条虫の中間宿主の検査成績，第48回日本寄生虫学会大会，1979. 4，東京.

4) 上村 清，渡辺 護，荒井優実：立山から記録された蚊，とくにハクサンヤブカについて，第34回日本衛生動物学会西日本支部大会，1979. 10，名古屋.

5) 丸山由紀子，上村 清，荻田善一：薄層寒天電気泳動法によるチカイエカ群の esterase-isozyme の遺伝生化学的研究，第34回日本衛生動物学会西日本支部大会，1979. 10，名古屋.

6) 上村 清：家庭内の害虫を考える—入口からの侵入者，ハエと蚊—，第23回全国環境衛生大会，1979. 11，岐阜.

2) 福井 啓，吉田文直，鹿江幹雄，立村森男，森永健一，山岸高由，小西健一：pneumopericardium を合併した acute pancreatitis. 日本消化器病学会誌 **76**：2125—2126，1979.

3) 刑部陽宅，山岸高由，児玉陽英，渡辺正男：Clostridium perfringens C型生菌に対する結紮家兔腸管の反応，日細菌誌 **34**：459—460，1979.

#### ◆ 学会報告

1) 石坂伸太郎，坂本憲市，桜井信也，山岸高由，小西健一：土壌の C. perfringens について，第16回日本細菌学会中部支部総会，1979. 10，富山.

2) 桜井信也，石坂伸太郎，坂本憲市，山岸高由，小西健一：遅発型皮膚反応の発現機序 I. ハプテン化脾細胞による接触性皮膚炎の抑制，第16回日本細菌学会中部支部総会，1979. 10，富山.

3) 小西健一，山岸高由，桜井信也，坂本憲市，石坂伸太郎：結核菌々体浸出液の免疫学的寛容原性について，第26回日本結核病学会・第15回日本胸部疾患学会合同北陸地方学会，1979. 11，福井.

## 細菌学・免疫学

教授 小西健一  
助教授 山岸高由  
助手 桜井信也  
助手 坂本憲市  
助手 石坂伸太郎  
文部技官 井上裕美子

#### ◆ 原 著 (第2輯記載洩れを含む)

1) 森 裕志，坂本憲市，江田昭英：N-(3',4'-dimethoxy-cinnamoyl) anthranilic acid(N-5') の抗体産生に及ぼす影響，アレルギー **27**：905—909，1978.

2) 小西健一，山岸高由，桜井信也，吉田知孝，堀田 宏，松田知夫：新生時結核菌々体浸出液の投与を受けたウサギのツベルクリン感受性と血中抗体産生について，金大医紀要 **3**：63—68，1979.

#### ◆ その他

1) 石坂伸太郎，坂本憲市，桜井信也，山岸高由，小西健一：土壌の Clostridium perfringens による汚染について，十全医会誌 **87**：817—818，1978.

## ウ イ ル ス 学

教 授 庭 山 清八郎  
助 教 授 落 合 宏  
助 手 林 京 子  
助 手 麓 耕 平  
文部事務官 中 川 明 夫

#### ◆ 原 著

1) Niwayama S., Oda S., Shibata M., Ochiai H., Koizumi K., Cho M., Nabeya M., Yasuhara T. and Miyata M.: Isolation of Akabane Viruses from Calves with Abnormal Birth throughout Niigata Prefecture, Japan. Acta Medica et Biologica **26**：205-218，1979.

2) 林 京子，何川 涼：唾液エステラーゼ(Set)型の出現頻度と法医学的応用，科学警察研究所報告 **32**：23—26，1979.

3) 近藤有好，外山讓二，月岡一治，五十嵐英夫，浅野良三，中俣正美，森川 聡，熊野英典，木下康民，落合 宏，野沢幸男，小幡八郎，山本 保，荻間 勇，本多悌二，広野 茂：過敏性肺臓炎(外因性アレルギー性肺炎)の臨床的研究，第1報 臨床例の検討と診断基準について，新潟医学会雑誌 **93**：297—313，1979.

4) Hayashi K. and Hayashi T.: Determination of phenotypes of esterases(Set) in fresh

saliva and saliva stains by disc electrophoresis and the distribution of Set phenotypes in the Japanese population. Forensic Science International **14**: 57-62, 1979.

5) 落合 宏, 庭山清八郎, 芝田充男, 篠川 至, 阿部昭也, 齊藤由紀, 宇野由紀子, 根津ヒロ子: 最近十数年間の日本脳炎の疫学調査について, 新潟医学会雑誌 **93**: 868-876, 1979.

6) 芝田充男, 阿部昭也, 庭山清八郎, 落合 宏, 古泉快夫: 新潟県内に集団発生した嘔吐下痢症の検査成績, 臨床とウイルス **7**: 368-372, 1979.

#### ◆ 総 説

1) 庭山清八郎: インフルエンザウイルスの抗原変異について, 新潟医学会雑誌 **93**: 1-21, 1979.

#### ◆ 学会報告

1) 阿部昭也, 芝田充男, 根津ヒロ子, 庭山清八郎: 新潟県内における恙虫病患者および住民の抗体調査成績, 第16回日本細菌学会中部支部総会, 1979. 10, 富山.

2) 元田昭策, 落合 宏, 庭山清八郎, 吉村隆二, 折笠道昭, 佐藤征也, 岩瀬勇雄: 固定ニワトリ赤血球による風疹ウイルス赤血球凝集(HA)ならびに同抑制(HI)試験に関する研究, 第16回日本細菌学会中部支部総会, 1979. 10, 富山.

3) 庭山清八郎, 落合 宏, 林 京子, 元田昭策, 芝田充男, 岩瀬勇雄, 佐藤征也: インフルエンザウイルスのHA抗原について, 第16回日本細菌学会中部支部総会, 1979. 10, 富山.

4) 芝田充男, 阿部昭也, 齊藤由紀, 元田昭策, 岩瀬勇雄, 庭山清八郎, 落合 宏: トリ型インフルエンザウイルスの抗体調査成績について, 第16回日本細菌学会中部支部総会, 1979. 10, 富山.

5) 芝田充男, 岩瀬勇雄, 落合 宏, 庭山清八郎: 1979年分離のA(H<sub>3</sub>N<sub>2</sub>)型およびB型インフルエンザウイルスの抗原分析について, 第27回日本ウイルス学会総会, 1979. 11, 東京.

6) 落合 宏, 庭山清八郎: ヘルペスウイルスの抗体調査, 第1回北陸ウイルス病研究会, 1979. 11, 金沢.

## 薬 理 学

教 授 中 西 穎 央  
助 教 授 武 田 龍 司  
助 手 百 瀬 弥 寿 徳  
助 手 山 崎 弘 美  
文 部 技 官 西 口 慶 子

#### ◆ 著 書

1) 中西穎央: 標準薬理学(分担執筆), 第4章 中枢神経系, 57-77, 医学書院, 1979.

#### ◆ 原 著

1) Shiohara E., Tsukada M., Yamazaki H., Okumura K. and Nakanishi S.: Ethanol metabolism in rats treated with chloral hydrate or trichloroethanol. Jap. J. Stud. Alcohol. **14**: 127-131, 1979.

2) Nakanishi S., Shiohara E., Tsukada M., Yamazaki H. and Nishiguchi K.: Liver aldehyde dehydrogenase activity and blood acetaldehyde levels in rats treated with chloral hydrate and trichloroethanol. Jap. J. Stud. Alcohol. **14**: 369-374, 1979.

3) Takeda R. and Momose Y.: The action of acetaldehyde on the intracellular electrical activities of the guinea-pig taenia coli. Arch. int. Pharmacodyn. **240**: 17-26, 1979.

4) Nakanishi S., Shiohara E., Tsukada M., Yamazaki H., Nishiguchi K. and Risyaf S.: Genetic control of responsiveness of rat liver supernatant aldehyde dehydrogenase to phenobarbital and 3-methylcholanthrene. Arch. Toxicol. (Berl.) **43**: 135-140, 1979.

#### ◆ 学会報告

1) 奥村慶子, 山崎弘美, 中西穎央: ラット肝ミトコンドリアによるアセトアルデヒド酸化に及ぼす trichloroethylene ならびにその代謝物の影響, 第52回日本薬理学会総会, 1979. 3, 東京.

2) 百瀬弥寿徳, 武田龍司: モルモット盲腸紐におけるK<sup>+</sup>拘縮に対するアセトアルデヒドの作用, 第52回日本薬理学会総会, 1979. 3, 東京.

3) 山崎弘美, 西口慶子, 中西穎央: アルデヒド脱水素酵素のラット肝ミトコンドリア内分布について, 第30回日本薬理学会北部会, 1979. 9, 仙台.

4) 武田龍司, 百瀬弥寿徳: アメフラシ腹部神経節におけるシナプス伝達に対するアセトアルデヒドの抑制作用, 第30回日本薬理学会北部会, 1979. 9, 仙台.